

鐘崎海水浴場で離岸流が発生！

福岡県鐘崎海水浴場で、波打ち際5箇所に海面着色剤（シーマーカー）を投入し、流れの様子を福岡航空基地の航空機により離岸流調査を行いました。今回調査した結果、**3箇所で弱い離岸流が発生**することを確認しました。

<調査結果>

・6月14日に1回調査を行い、調査範囲の東側の潜堤付近（測点②）で、**最大約0.3m/s、約180m**沖まで流れる離岸流の発生を確認しました。（表1参照）

表1 海面着色剤投入箇所の最大流向、流速（上段）及び移動距離（下段）

※海面着色剤投入後60分以内に観測された値

測点	①	②	③	④	⑤
離岸流発生の有無	有	有	無	無	有
方向	北方向	北方向	発生なし	発生なし	北西方向
速さ（最大値）	約0.1m/s	約0.3m/s	発生なし	発生なし	約0.2m/s
到達距離	約120m	約180m	発生なし	発生なし	約110m

<調査方法>

・海岸から海面着色剤を測点①から測点⑤までの5測点において散布して、海面着色剤が漂流及び拡散する状況を陸上及び航空機からデジタルカメラ等により撮影するとともに、目視及び画像により確認しました。



図1 海面着色剤投入箇所

(※図1から図7まで当庁航空機による画像)

<調査経過 1>



图2 海面着色剤投入 5 分後 (11 時 15 分)



图3 海面着色剤投入 10 分後 (11 時 20 分)



图4 海面着色剤投入 20 分後 (11 時 30 分)



图5 海面着色剤投入 30 分後 (11 時 40 分)

<調査経過 2>



図6 海面着色剤散布 40 分後 (11 時 50 分)



図7 海面着色剤散布 50 分後 (12 時 00 分)

<総評・まとめ>

本調査では、測点①、測点②及び測点⑤において離岸流を確認しました。測点①においては浅所と最も東側の潜堤間付近に達し、測点②においては最も東側の潜堤とその西側の潜堤間を通過し沖にまで流出する離岸流を確認しました。この浅所や潜堤を通過する時間帯は引き潮時であり、またこの潜堤の上部や浅所が海面上に現れていたことから、岸に寄り集まった海水がこの浅所と潜堤間から流れ出たものと思料されます。測点⑤においては東から4番目の潜堤の西側に向かう離岸流が発生しましたがその後拡散しました。

気象状況は、比較的平穏ではありましたが、外洋から海岸にかけて強い風が吹くと、より顕著な離岸流が発生する可能性はあると思料されます。また、離岸流はこの海岸でも起きる可能性があり、防波堤や離岸堤など、流れを遮るものの付近では離岸流は発生しやすく、風向きなどの気象、波の大きさなどの海象状況も影響します。

当初、離岸流の発生箇所は測点5箇所全てで発生と速報していましたが、詳細な解析の結果、5箇所のうち3箇所において離岸流が発生したという結果となりました。